

第10回

バナナ・果物 消費動向調査

日本バナナ輸入組合
2014年7月
(8月7日はバナナの日)

目次

| | |
|-------------------------------------|----|
| 調査概要 | 2 |
| 調査結果 | |
| よく食べる果物 | 3 |
| 果物を食べる頻度 | 3 |
| バナナを食べることが多いタイミング | 4 |
| 朝食に食べるもの | 4 |
| バナナを食べる頻度 | 5 |
| この1年でバナナを食べる頻度(量)が変化した理由 | 5 |
| バナナを食べる理由 | 6 |
| 知られているバナナの栄養素 | 6 |
| 知られているバナナの効果・効能 | 7 |
| 気になるバナナの効果・効能 | 7 |
| 知られているバナナの効果・効能×気になるバナナの効果・効能 | 8 |
| バナナを買うときの基準 | 8 |
| バナナの若返り(アンチエイジング)効果 | 9 |
| 統計資料 | 10 |

調査概要

●調査目的

本年度で10回目の調査となる『バナナ・果物消費動向調査』では、例年に引き続き、バナナの食用実態や購入実態の把握を目的とするとともに、バナナの栄養素や効果・効能、熟度、さらにはバナナの若返りへの効用に対する一般消費者の認知度についても調べました。

●サマリー

バナナは10年連続よく食べる果物で1位となりました。

バナナの栄養素としては、昨年から若干順位が変動しているものの、引き続き「糖質」「食物繊維」「カリウム」などの認知度が高く、気になるバナナの効果・効能としては、「免疫力を高める」「豊富な食物繊維により消化を助ける」「抗酸化作用により体内の活性酸素を取り除く」などが上位を維持しています。

●調査対象：全国16歳以上の男女

●調査時期：2014年6月24日（火）～ 2014年6月25日（水）

●調査方法：インターネット

●属性割付：

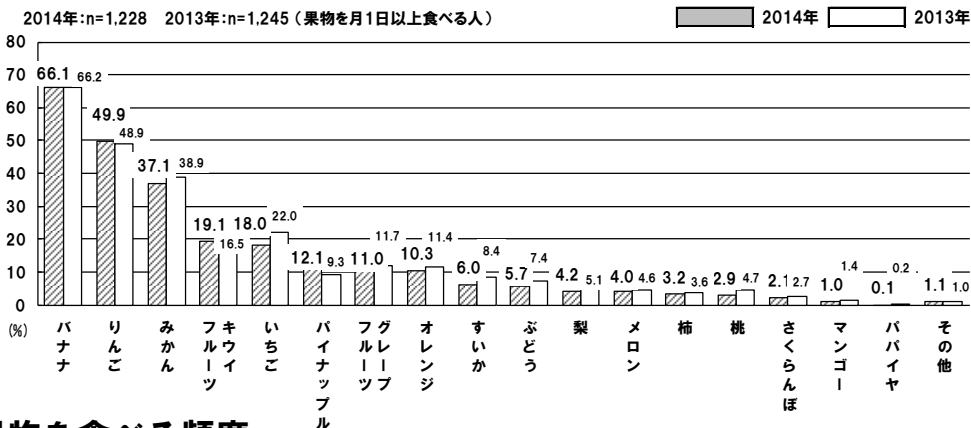
| | | 人数 |
|--------|---------|-------|
| 合計 | | 1,442 |
| 性別 | 男 | 721 |
| | 女 | 721 |
| 性別一年齢層 | 男－10代 | 103 |
| | 男－20代 | 103 |
| | 男－30代 | 103 |
| | 男－40代 | 103 |
| | 男－50代 | 103 |
| | 男－60代 | 103 |
| | 男－70歳以上 | 103 |
| | 女－10代 | 103 |
| | 女－20代 | 103 |
| | 女－30代 | 103 |
| | 女－40代 | 103 |
| | 女－50代 | 103 |
| | 女－60代 | 103 |
| | 女－70歳以上 | 103 |

よく食べる果物

「バナナ」…約66%、「りんご」…約50%、「みかん」…約37%

バナナは回答者の7割近くがよく食べる果物として挙げており、10年連続、よく食べる果物の1位です。

Q. あなたがよく食べる果物をお選びください。(複数回答/3つまで)



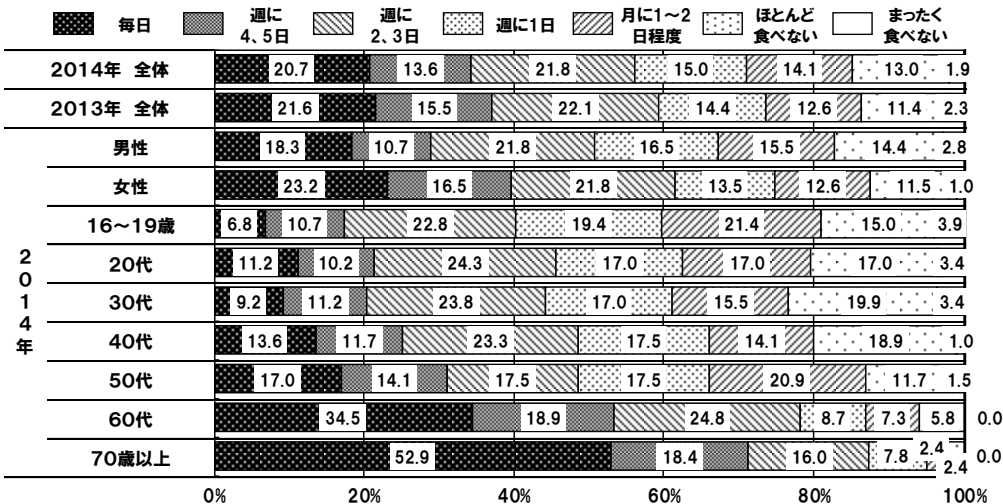
果物を食べる頻度

「毎日」が約21%、「週4、5日」が約14%で、全体の3分の1以上が「週に4、5日以上」果物を食べています。

「毎日」果物を食べる人は、男性よりも女性がやや多く、また、30代以上では年齢が高くなるほど増える傾向がみられます。

Q. あなたはどのくらいの頻度で果物を食べますか。(単一回答)

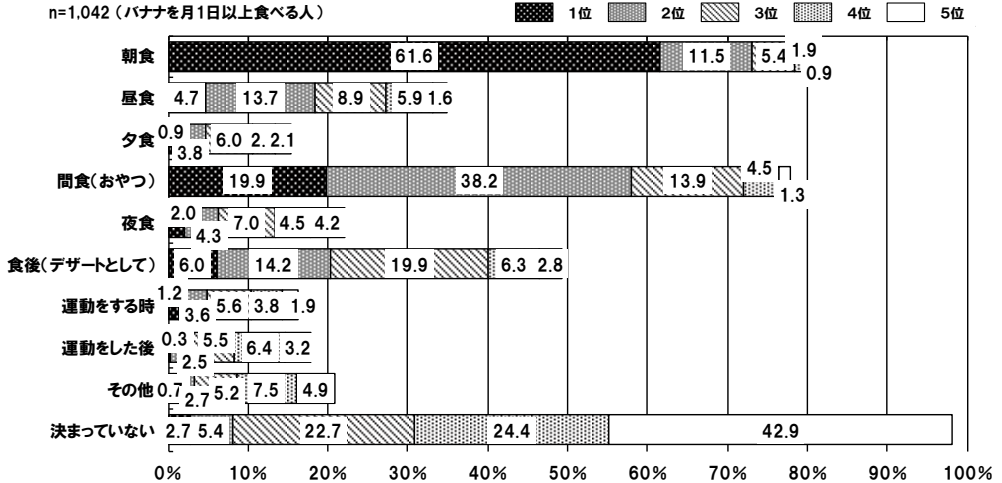
n=1,442 (全員回答)



バナナを食べることが多いタイミング

バナナを食べるタイミングの1位をみると、「朝食」が約62%と極めて高く、次いで、「間食(おやつ)」が約20%となっています。

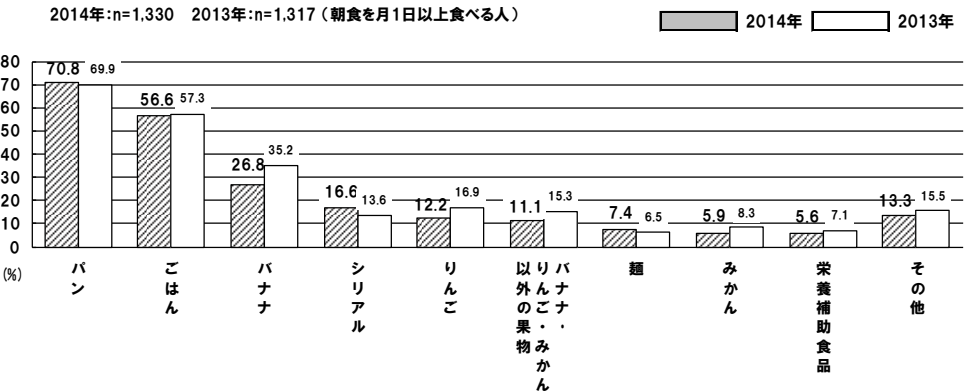
Q. あなたはバナナをいつ食べる人が多いですか。(食べる人が多い順に5位まで)(各単一回答)



朝食に食べるもの

「パン」が約71%で最も高く、以下、「ごはん」約57%、「バナナ」約27%と続いています。時系列でみると、2014年度は、2013年度と比べて「パン」と「ごはん」の割合が横這いで推移した一方、「バナナ」の割合は低下しています。

Q. あなたは朝食にどんなものを食べますか。(複数回答)

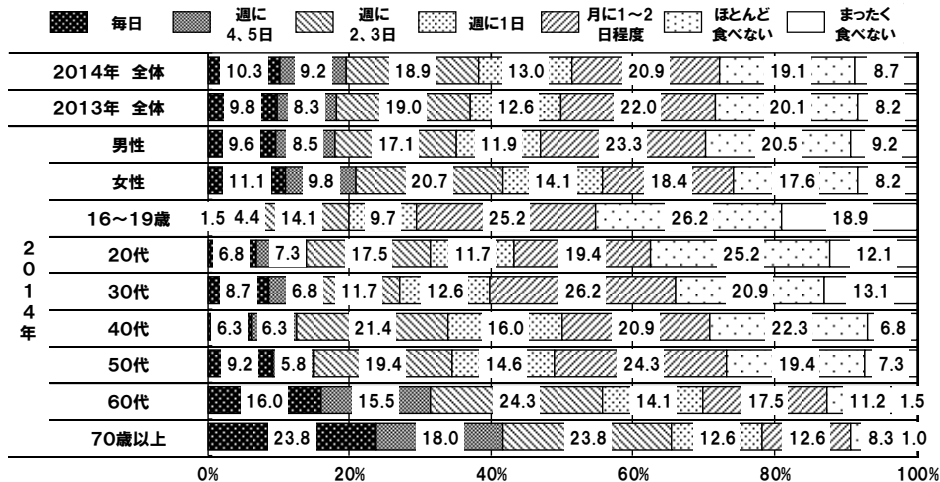


バナナを食べる頻度

「月1～2日程度」が約21%と最も多く、「週2、3日」が約19%と僅差で続いています。60代以上では、6割以上がバナナを「週1日」以上食べていると回答しています。

Q. あなたはどのくらいの頻度でバナナを食べますか。(単一回答)

n=1,442 (全員回答)



この1年でバナナを食べる頻度(量)が変化した理由

「非常に増えた」「やや増えた」をあわせて約28%、「やや減った」「非常に減った」をあわせて約22%でした。

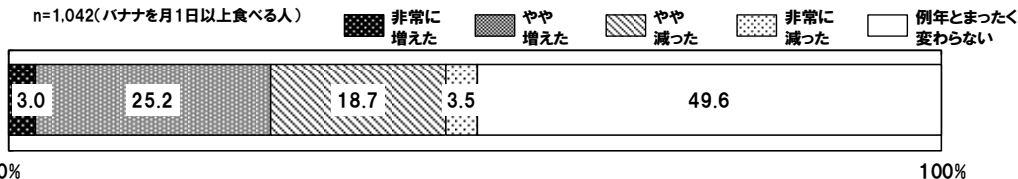
増減理由の傾向は下記の通りで、「価格」が減少の一因となっている。

Q. この一年で、あなたのバナナを食べる頻度(量)はどのように変化しましたか。(単一回答)

Q. この一年で、あなたがバナナを食べる頻度(量)が変化した理由をお書きください。(自由回答)

■ 増減

n=1,042 (バナナを月1日以上食べる人)



■ 増減理由の傾向 (自由回答を整理)

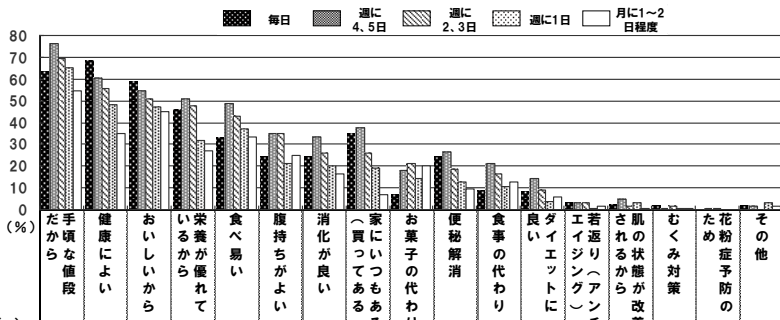
| 非常に増えた理由(31名) | やや増えた理由(263名) | やや減った理由(195名) | 非常に減った理由(36名) |
|---------------|---|------------------------------------|-----------------------|
| ・朝食としての喫食 | ・朝食としての喫食 ・子供(に合せて他の家族も) ・便秘解消 ・手軽に食べられる | ・価格(高騰) ・バナナに対する飽き ・他の果物への移行 | ・生活、家族構成の変化 ・傷みの早さ |

バナナを食べる理由

「手頃な値段だから」が約65%でトップ。以下、「健康によい」約51%、「おいしいから」約50%などが上位に挙げられています。

「健康によい」と「おいしいから」は、バナナを食べる頻度が高くなるほど増えています。

Q. あなたがバナナを食べる理由をお選びください。(複数回答)

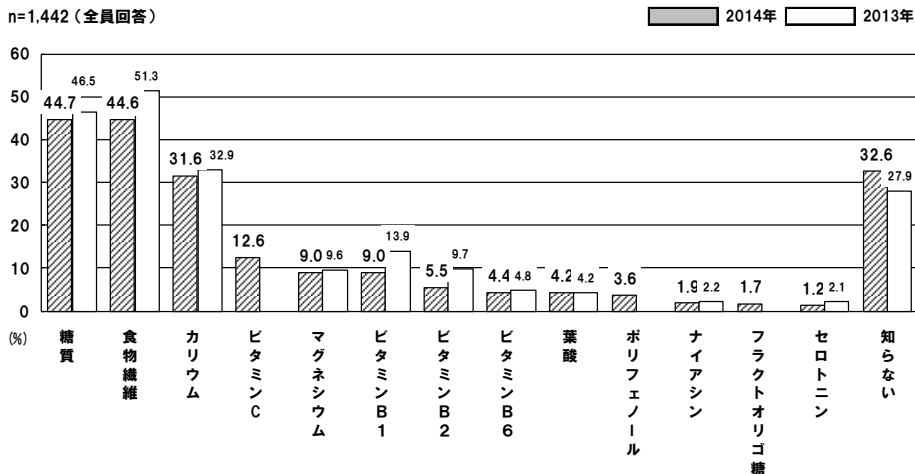


| (n) | | 毎日 | 週に4,5日 | 週に2,3日 | 週に1日 | 月に1~2日程度 | その他 | |
|----------------------------|----------|------|--------|--------|------|----------|------|------|
| 2014年 全体 | 1,042 | 64.6 | 50.9 | 50.3 | 39.2 | 38.4 | 28.0 | |
| 2013年 全体 | 1,034 | 63.9 | 52.5 | 49.1 | 43.9 | 42.8 | 31.4 | |
| 2014年 バナナを 食べる 頻度 | 毎日 | 149 | 63.8 | 68.5 | 59.1 | 46.3 | 32.9 | 24.2 |
| | 週に4,5日 | 132 | 76.5 | 60.6 | 54.5 | 50.8 | 48.5 | 34.8 |
| | 週に2,3日 | 272 | 69.5 | 55.9 | 51.1 | 47.8 | 43.0 | 34.9 |
| | 週に1日 | 188 | 65.4 | 48.4 | 47.3 | 31.9 | 37.2 | 21.3 |
| | 月に1~2日程度 | 301 | 54.8 | 34.9 | 45.2 | 27.2 | 33.2 | 24.9 |
| | | 22.8 | 22.1 | 17.2 | 16.8 | 13.9 | 7.8 | 2.3 |
| | | 16.8 | 13.9 | 7.8 | 2.3 | 2.1 | 0.9 | 0.3 |
| | | 13.9 | 7.8 | 2.3 | 2.1 | 0.9 | 0.3 | 1.4 |
| | | 7.8 | 2.3 | 2.1 | 0.9 | 0.3 | 1.4 | 1.5 |
| | | 2.3 | 2.1 | 0.9 | 0.3 | 1.4 | 1.5 | 0.0 |
| | | 2.1 | 0.9 | 0.3 | 1.4 | 1.5 | 0.0 | 3.2 |
| | | 0.9 | 0.3 | 1.4 | 1.5 | 0.0 | 3.2 | 1.7 |
| | | 0.3 | 1.4 | 1.5 | 0.0 | 3.2 | 1.7 | |
| | | 1.4 | 1.5 | 0.0 | 3.2 | 1.7 | | |

知られているバナナの栄養素

「糖質」と「食物繊維」がともに約45%で最も多く、次いで、「カリウム」が約32%となっています。時系列でみると、2014年度は2013年度と比べて「食物繊維」の低下が目立ちます。

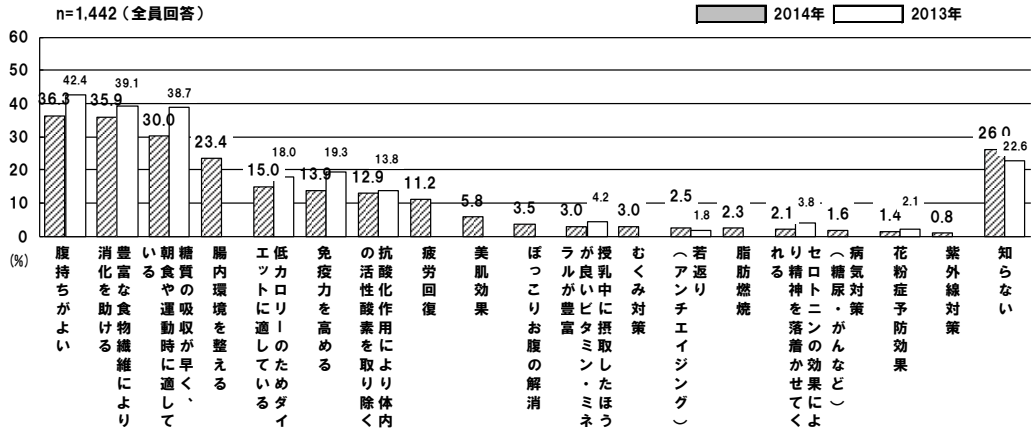
Q. あなたが知っているバナナの栄養素をお選びください。(複数回答)



知られているバナナの効果・効能

「腹持ちがよい」約36%、「豊富な食物繊維により消化を助ける」約36%、「糖質の吸収が早く、朝食や運動時に適している」約30%、「腸内環境を整える」約23%などが上位です。その他の効果・効能はいずれも2割を下回っており、「若返り(アンチエイジング)」については2013年度から横這いで、約3%にとどまっています。

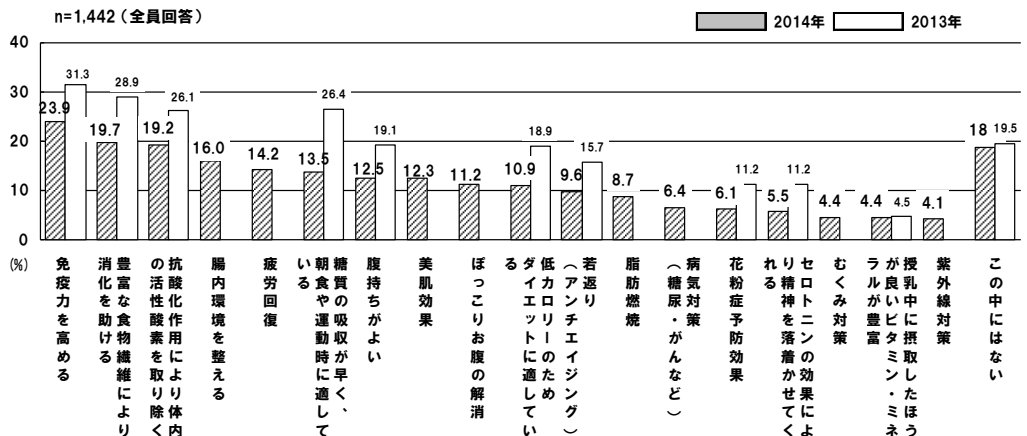
Q. あなたが知っているバナナの効果・効能をお選びください。(複数回答)



気になるバナナの効果・効能

「免疫力を高める」が約24%でトップ。次いで、「豊富な食物繊維により消化を助ける」「抗酸化作用により体内の活性酸素を取り除く」がいずれも約2割で、上位に挙がっています。

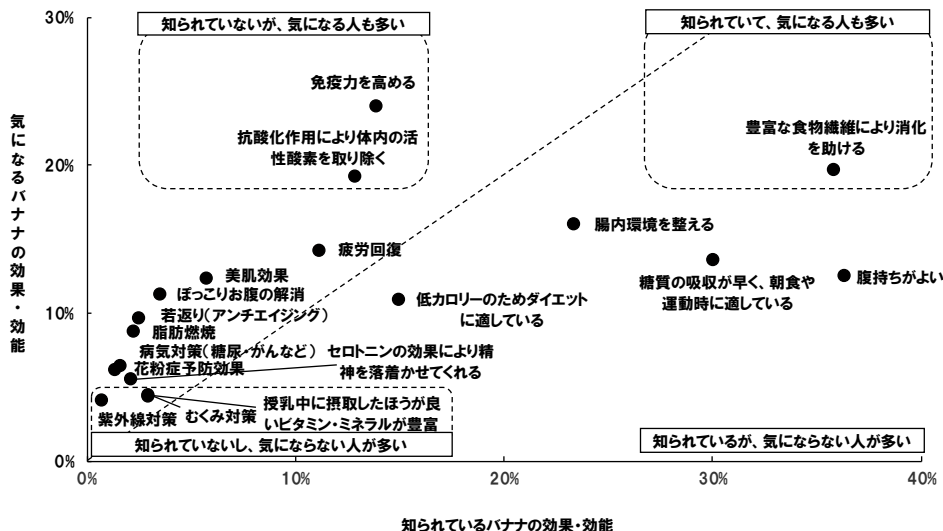
Q. 以下の中から、あなたが気になるバナナの効果・効能をお選びください。(複数回答/3つまで)



知られているバナナの効果・効能×気になるバナナの効果・効能

下の図は、バナナの効果・効能について、知られているものと気になるものの割合の関係を示したものです。

『知られていないが、気になる人が多い』効果・効能としては、「免疫力向上」「抗酸化作用」が挙げられます。

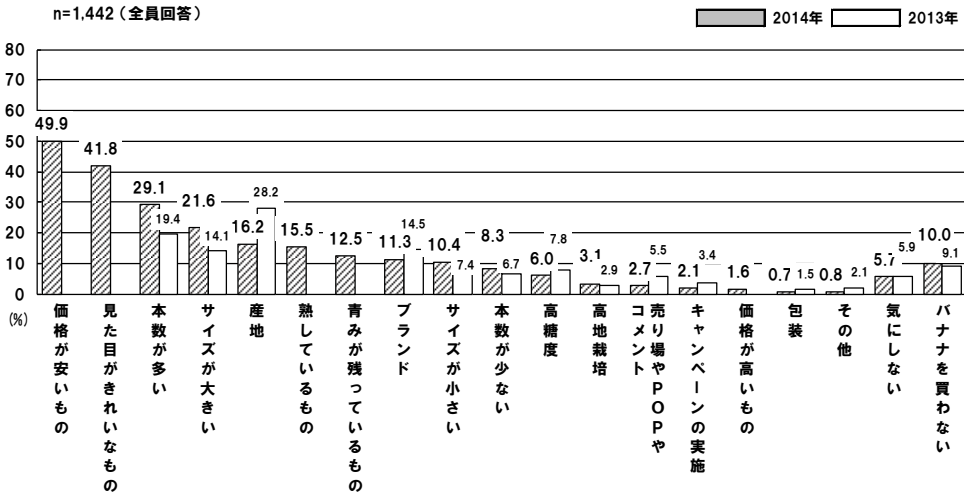


バナナを買うときの基準

「価格が安いもの」が約50%で最も高く、以下、「見た目がきれいなもの」約42%、「本数が多い」約30%、「サイズが大きい」約22%が続いています。

Q. あなたがバナナを買う時の基準をお選びください。(複数回答)

n=1,442 (全員回答)



バナナの若返り効果

バナナの若返り効果を「よく知っていた」と回答した人は約5%と僅少です。また、これに「聞きしたような気がする」約28%をあわせた認知率としては約33%となっています。

バナナの若返り効果を知ったことにより、バナナを「今まで以上に食べたいと思う」と回答した人の割合は、約51%と過半数に及んでいます。

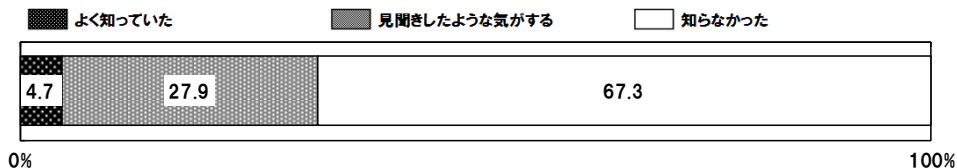
Q.以下のバナナの効果、効能や食べ方について知っている度合いをそれぞれお答えください。

【若返り(アンチエイジング)効果がある】(単一回答)

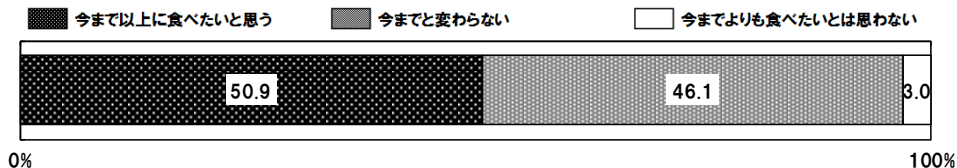
Q.あなたはこれらの効果・効能を知ってバナナを食べたいと思いますか。

【若返り(アンチエイジング)効果がある】(単一回答)

<バナナの若返り効果認知> n=1,442 (全員回答)



<バナナの若返り効果認知後の購入意向> n=1,442 (全員回答)

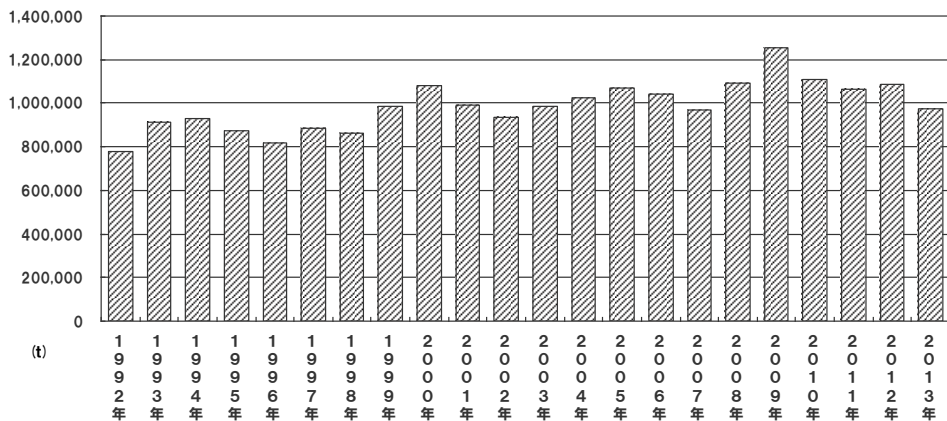


統計資料(財務省貿易統計・総務省統計局家計調査より)

財務省貿易統計

財務省貿易統計のデータによると、2013年のバナナ輸入数量は約98万トンでした。前年の漸減→下げ止まりから一転、輸入量は減少して100万トンを割りました。

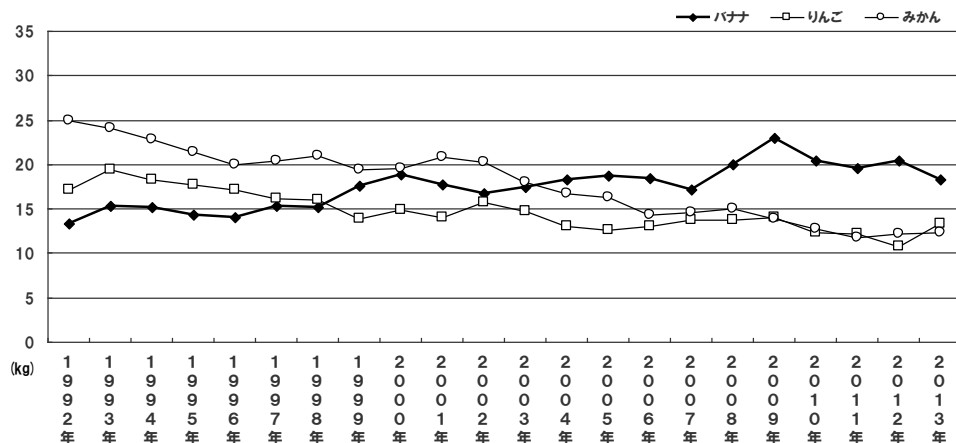
輸入数量



総務省統計局家計調査(世帯区分:2人以上の世帯)

果物の中で、バナナは年間消費量首位の座にありますが、2013年の年間消費量は約18.2kgで、前年の20kg台からは減少が目立ちます。他の果物ではみかんは横ばいでしたが、りんごは増加が目立ち、両者の順位は逆転しました。

バナナ・りんご・みかんの年間消費量(2人以上の世帯)



発行

日本バナナ輸入組合

東京都千代田区内神田1-3-1 トーハン第3ビル2階

お問合せ先

日本バナナ輸入組合広報室

TEL 03-5577-4765

受付時間 午前9時-午後4時

バナナ大学ホームページ <http://www.banana.co.jp>